

2022年第8回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・広島

大会要項

1. 大会名称

日本語表記 2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島
英語表記 Special Olympics Nippon National Summer Games Hiroshima 2022
略称 スペシャルオリンピックス 2022 広島

2. 開催期間

2022年11月4日(金)～6日(日) 3日間
2022年11月4日(金) 開会式
2022年11月5日(土) 競技予選(ディビジョニング)
2022年11月6日(日) 競技決勝 / 表彰 / 閉会式

3. 開催地

広島県(広島市、呉市、三原市、北広島町)

4. 参加予定人員

参加地区:	47都道府県の地区組織
アスリート/パートナー	約900名
選手団役員・コーチ:	約600名
大会役員・審判:	約350名
ボランティア:	延べ4,000名
ファミリー・応援団・観客:	延べ10,000名

【合計】 約15,850名

5. 大会ロゴ



【コンセプト】

開催県広島の県木の「もみじ」をモチーフに、垂直に立てられた葉の姿は未来志向であり、放射状の葉片はこれから私たちが向かうべき多様性を尊重する社会をあらわすとともに、これを実現する参加者や観客のエネルギーをグラデーションの色調に込めている。

また、日本の縮図と言われる多様な広島県の環境(瀬戸内海、中国山地、都市の賑わい、人の躍動)を多彩な色に置き換えている。

6. 大会スローガン

Power of Smile

～だれもが輝ける場所へ。～

7. 開催趣旨

- (1) 本大会は、全国各地で日常のスポーツトレーニングに参加するアスリートが一堂に会し、日頃のトレーニングの成果を発揮し、勝利を目指して力を出し合い、競い合い、そして喜びを共にする機会とする。
- (2) 参加するアスリートが、競技だけでなく、本大会における様々なプログラムや宿舎での共同生活を通じ、パートナー、コーチや多くのボランティアと触れ合いながら相互理解と友好を深め、仲間との絆を深めながら自立と社会性を高める機会とする。
- (3) 本大会を通じ、開催地及び全国において、スペシャルオリンピックスが広まると同時に、知的障害のある人とスポーツを通じた様々なユニファイド活動により、アスリートに関する理解が深まり、障害の有無に関わらず、互いの違いを理解し認め合い、多様な人々が共に育ち、共に生きるインクルージョンの社会創りが促進されることを目指す。
- (4) 本大会は、2023年に開催される予定のスペシャルオリンピックス夏季世界大会の国内選考を兼ねる。
- (5) 主管地区であるスペシャルオリンピックス日本・広島は、この大会及びスペシャルオリンピックスについて一人でも多くの市民に知ってもらうための機会を、可能な限り設ける。また、大会で得た有形無形の遺産を生かし、今後の広島におけるスペシャルオリンピックス活動とインクルージョン社会の発展につなげる。
- (6) アスリートをはじめ、大会に関わる全ての人々に平和都市広島の魅力を知ってもらう機会とする。

8. 運営方針

- (1) より多くのアスリートが参加できるよう競技時間を確保するとともに、すべての地区の選手団が開会式から閉会式まで過重な負担がなく参加できるよう、スケジュールや宿泊場所に配慮する。
- (2) 参加するアスリート/パートナー、コーチ、ボランティアが大会期間中を通じて、快適で健康に過ごすことができるように努める。
- (3) 各競技団体と協力し、スペシャルオリンピックススポーツルールに従って適正かつ公正な競技運営に努める。
- (4) 参加するすべての人が、それぞれの活動場面で喜びと誇りを感じることができるよう配慮する。
- (5) この大会の準備と運営を通して、障害者の自立と社会参加に取り組む企業、福祉、教育、行政などの関係者のネットワークを構築し、それぞれの活動のより一層の発展に寄与するよう努める。
- (6) 本大会及び、本大会関連事業において、可能な限り環境に配慮した運営に努める。
- (7) 新型コロナウイルス感染予防対策に十分に配慮し、安心安全な大会運営に努める。

9. 主催 / 主管 / 運営主体

主 催	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
主 管	特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・広島
運営主体	2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島実行委員会

10. 大会役員

大会名誉会長	(公財)スペシャルオリンピックス日本 名誉会長	細川 佳代子
大会名誉副会長	(公財)スペシャルオリンピックス日本 会長	三井 嬉子
大会会長	(公財)スペシャルオリンピックス日本 理事長	有森 裕子
実行委員長	(特非)スペシャルオリンピックス日本・広島 理事長	崔 希美

11. 競技会場/式典等会場(予定)**<競技>**

陸上競技:	広島広域公園(エディオンスタジアム)	(広島市)
バドミントン:	広島経済大学 石田記念体育館	(広島市)
バスケットボール:	広島県立総合体育館(グリーンアリーナ/大・小アリーナ)	(広島市)
ボウリング:	ミスズボウル	(広島市)
馬術:	JB 北広島乗馬クラブ	(北広島町)
サッカー:	広島広域公園(第1球技場)	(広島市)
柔道:	広島県立総合体育館(武道場)	(広島市)
競泳:	日本製鉄アクアパーク	(呉市)
卓球:	マエダハウジング東区スポーツセンター	(広島市)
テニス:	広島広域公園(テニスコート)	(広島市)
フライングディスク:	広島経済大学 陸上競技場	(広島市)
自転車:	広島県立中央森林公園(ロードレース)	(三原市)

<式典>

開会式/閉会式:	広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)	(広島市)
レセプション:	広島リーガロイヤルホテル	(広島市)

12. 競技以外のイベント(予定)

採火式/分火式 (2022年4月2日 場所:広島平和公園、広島県立総合体育館小アリーナ)
 ヘルシー・アスリート・プログラム (2022年11月4-5日 場所:広島県立総合体育館)
 その他、ユニファイドスポーツ体験等予定

13. 選手団宿舎

競技	競技会場/宿舎	人数
陸上競技	広島広域公園(エディオンスタジアム) (広島市)	計 300名
(宿舎)	広島市青年野外活動センター・こども村	210名
(宿舎)	広島工業大学沼田校舎	90名
サッカー	広島広域公園(第1球技場) (広島市)	計 80名
(宿舎)	広島工業大学沼田校舎	80名
テニス	広島広域公園(テニスコート) (広島市)	計 90名
(宿舎)	広島サンプラザ	90名
バドミントン	広島経済大学 石田記念体育館 (広島市)	計 60名
(宿舎)	神田山荘	60名
フライングディスク	広島経済大学 陸上競技場 (広島市)	計 30名
(宿舎)	オリエンタルホテル	30名
バスケットボール	広島県立総合体育館(グリーンアリーナ) (広島市)	計 200名
(宿舎)	オリエンタルホテル	200名
柔道	広島県立総合体育館(武道場) (広島市)	計 40名
(宿舎)	魚光旅館	40名
自転車	広島県立中央森林公園(ロードレース) (三原市)	計 40名

(宿舎)	魚光旅館	40名
ボウリング	ミスズボウル(広島市)	計250名
(宿舎)	広島サンプラザ	40名
(宿舎)	広島市三滝少年自然の家	140名
(宿舎)	広島県スポーツ会館	70名
卓球	マエダハウジング東区スポーツセンター(広島市)	計130名
(宿舎)	広島ホテル法華倶楽部	130名
競泳	日本製鉄アクアパーク(呉市)	計250名
(宿舎)	呉市スポーツ会館	83名
(宿舎)	郷原グリーンヒル	63名
(宿舎)	ビューポート呉ホテル	104名
馬術	JB北広島乗馬クラブ(北広島町)	計30名
(宿舎)	アザレア千代田	30名

※ 宿舎は、今後変更になる場合があります。

14. 選手団構成基準

- ① 選手団は、団長と副団長を派遣することができる。但し、アスリートが5名以下の場合は、団長のみとする。
- ② 団長、副団長を除く選手団の構成は、原則として各競技アスリート(ユニファイドスポーツのアスリートを含む)・パートナー4名に対しコーチ1名とする。但し、アスリートの男女構成でコーチ数を変更する場合がある。
- ③ 選手団が必要と判断した場合は、スタッフを追加して選手団を構成することができる。追加できるスタッフの数については、全アスリート数(パートナーは含まない)の20%の範囲内とする。そのスタッフは、追加スタッフと呼ばれ、費用が別途必要となる。各競技のヘッドコーチにはなることはできないが、その他は選手団の公式メンバーとして同様の待遇を受けることができる。

15. 選手団参加資格

(1) アスリート

- ① 各地区組織にアスリートとして登録し、2022年11月4日現在で8歳以上であること。
- ② 2021年1月1日から2022年7月31日の期間内に、スペシャルオリンピックス日本の地区組織が提供しているスポーツトレーニングプログラム(大会に参加する競技のプログラム)に、8週間以上にわたり8回以上参加した経験がある者。但し、合宿形式でのトレーニングプログラムの場合は、2時間程度のトレーニングプログラムを1回と数えることとする。
- ③ エントリー時に出場予定の競技が指定する記録、評価等を提出すること。
- ④ 大会期間中、選手団のみで行動できる体力・情緒の安定・自立度・社会適応力があること。なお、そこには競技の能力レベルは含まないものとする。
- ⑤ 大会参加にふさわしい身体状況にあること。
- ⑥ 大会への参加に関して、アスリート本人の同意が得られていること。但し、アスリートが18歳未満の場合は、保護者の同意も必要である。
- ⑦ 上記の条件を満たし、各地区組織の選手団選考委員会にて参加が適格であると認められた者。
- ⑧ 大会実行委員会にて定めた新型コロナウイルス感染予防対策を遵守できる者。

(2) パートナー

- ① 各地区組織にパートナーとして登録し、2022年11月4日現在で8歳以上であること。

- ② 2021年1月1日から2022年7月31日の期間内に、スペシャルオリンピックス日本の地区組織が提供しているスポーツトレーニングプログラム(大会に参加する競技のプログラム)に、8週間以上にわたり8回以上参加した経験がある者。但し、合宿形式でのトレーニングプログラムの場合は、2時間程度のトレーニングプログラムを1回と数えることとする。
- ③ エントリー時に出場予定の競技が指定する記録、評価等を提出すること。
- ④ 大会期間中、選手団のみで行動できる体力・情緒の安定・自立度・社会適応力があること。なお、そこには競技の能力レベルは含まないものとする
- ⑤ 大会参加にふさわしい身体状況にあること。
- ⑥ 大会への参加に関して、パートナーが18歳未満の場合は、保護者の同意も必要である。
- ⑦ 上記の条件を満たし、各地区組織の選手団選考委員会にて参加が適格であると認められた者。
- ⑧ 大会実行委員会にて定めた新型コロナウイルス感染予防対策を遵守できる者。

(3) コーチ

- ① 当該スポーツ競技のスペシャルオリンピックス日本認定コーチであること。(2022年10月4日現在で認定コーチの資格要件を満たし、各地区組織が認めた者も可)
- ② 大会当日までの過去2年以内に地区組織が提供するスポーツトレーニングプログラム(大会に参加する競技のプログラム)に参加していること。
- ③ 大会参加にふさわしい身体状況にあること。
- ④ 上記の条件を満たし、各地区組織の選手団選考委員会にて参加が適格であると認められた者。
- ⑤ 大会実行委員会にて定めた新型コロナウイルス感染予防対策を遵守できる者。

(4) 団長・副団長および追加スタッフ

- ① スペシャルオリンピックス日本の地区組織に登録していること。
- ② スペシャルオリンピックス日本の指定する研修を受講していること。
- ③ 大会当日までの過去2年以内に地区組織が提供するスポーツトレーニングプログラムへ参加していること。
- ④ 大会参加にふさわしい身体状況にあること。
- ⑤ 上記の条件を満たし、各地区組織の選手団選考委員会にて参加が適格であると認められた者。
- ⑥ 大会実行委員会にて定めた新型コロナウイルス感染予防対策を遵守できる者。

16. 新型コロナウイルス感染予防対策

新型コロナウイルス感染予防対策に十分に配慮し、安心安全な大会運営を行うにあたり、すべての参加者が、感染予防対策を確実に実行することが感染拡大防止の基本となる。

その為、今大会では、以下の事項を感染予防対策の基本とし、選手団をはじめ、運営スタッフ、ボランティア等の方々には遵守していただく。

<新型コロナウイルス感染予防対策> 2021年11月時点

- ① ワクチン接種有無の提示
※ ワクチン接種については、強制することはないが接種することを推奨する。
- ② 大会参加前のPCR検査(陰性証明の提示)※地区組織負担
- ③ 手指衛生の励行
- ④ 競技およびウォームアップ実施時以外、常時マスクの着用
- ⑤ ソーシャルディスタンスの確保
- ⑥ 「3密」(密閉空間・密集場所・密接場面)の回避
- ⑦ 体調不良の場合、参加自粛(例:発熱、咳・喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常等)
- ⑧ 大声での会話・応援の自粛

- ⑨ その他、実行委員会から提示される新型コロナウイルス感染予防対策 等

17. 競技規則

本大会は、スペシャルオリンピックス公式スポーツルール第Ⅰ章総則最新版、各競技ルール最新版、及び各競技の国際競技団体競技規則最新版、国内競技団体競技規則最新版に沿って行う。ただし、各競技のルール委員会で、本大会に関するルールを定めた場合は、それを優先する。

18. 選手団クォータ(参加枠)

本大会では、各地区選手団に参加人数枠を設ける。別添の資料「大会クォータ(参加枠)の申請について」を参照すること。

19. エントリー

アスリート/パートナーのエントリーについては、1人1競技とする。
エントリーが可能な種目数や詳細については、各競技要項(後日配布)を参照すること。
また、エントリーされたアスリート/パートナー及びコーチ(団長・副団長・追加スタッフ)の参加についての最終判断は、大会実行委員会が行う。

<エントリースケジュール>

2021年11月末	地区組織へ競技要項及び、選手団クォータ希望調査案内
2022年1月16日	地区組織からの選手団クォータ希望提出締切
2022年2月中旬	地区組織へクォータ枠通知
2022年3月末	地区組織へ選手団クォータ変更締切
2022年4月	地区組織へ選手団クォータ決定通知 選手団エントリー開始
2022年6月末	選手団エントリー締切
2022年7月末	選手団エントリー変更締切

※ 6月のエントリー締切以降にケガ、病気等のやむをえない事情によりエントリー変更の必要が生じた場合は、既にエントリーされているアスリート/パートナーと同性かつ同競技へのエントリー変更に限る。(コーチを含む。)

20. 参加負担金

アスリート、パートナー、コーチ、選手団役員(団長等)、追加スタッフ 1人あたり 15,000円

- ※ 各地区から、大会開催地の最寄り空港・駅、開会式会場までの輸送手配・交通費は各地区負担とする。
- ※ 追加スタッフは、参加負担金とは別途費用(実費経費)が必要となる場合がある。
- ※ 自然災害や感染症のまん延等、主催者の責によらない事由で大会が中止となる場合、参加負担金については、中止を決定した時点で実際にかかった費用等を勘案して返金の有無・金額等を決定する。

21. 現地説明会

開催日：2022年6~7月予定 (オンラインにて実施予定)

22. 主な予定

2021年11月	(選手団関連)地区組織へ競技要項及び、選手団クオータ申請案内 大会1年前イベント“2つの世界遺産をつなぐハイキング” ふるさと納税開始
2022年1月	大会ボランティア募集開始
2022年1月16日	(選手団関連)地区組織からの選手団クオータ提出締切
2022年2月中旬	(選手団関連)地区組織へ選手団クオータ通知
2022年4月2日	採火式・分火式・トーチランファーストレグ
2022年4月～10月	全国・広島県内トーチラン
2022年3月末	(選手団関連)地区組織へ選手団クオータ変更締切
2022年4月	(選手団関連)地区組織へ選手団クオータ決定通知 (選手団関連)選手団エントリー開始
2022年5月	フラワーフェスティバル 団体参加 啓発パレード
2022年6月末	(選手団関連)選手団エントリー締切
2022年6月末	ボランティア募集締切
2022年6～7月	現地説明会
2022年7月末	(選手団関連)選手団エントリー変更締切
2022年7月29日	記者会見 大会前100日前イベント
2022年8月～10月	ボランティア研修会・審判研修会
2022年11月3日	開催告知イベント30日前(広島空港にて)
2022年11月4日～6日	2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島 開催

23. お問い合わせ

2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島 大会実行委員会事務局

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3 広島県民文化センター6階ひろしまNPOセンター内

TEL: 082-248-2546 / FAX: 082-248-2547 / E-mail: song2022@son.or.jp

大会サイト: <https://sonippon.wixsite.com/so-2022-hiroshima>

※ お問い合わせは、実行委員会事務局宛に、E-mailまたはFAXにてお願いします。
電話でのお問合せはご遠慮いただき、文書でお問合せいただきますようお願いいたします。

以上